

諏訪地方の経済概況速報

平成25年4月

(平成25年3月末調査)

平成25年4月25日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266(23)4567

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比
有効求人倍率【 2月】	諏訪公共職業安定所管内	0.76 倍	△0.08 ポイント
手形交換高【 3月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	5,382 枚	△366 枚
	金 額	5,806 百万円	△853 百万円
	うち不渡り	枚 数	11 枚
	発生状況	金 額	2,340 千円
電力使用量【 3月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	67,421 MWh	△8.8 %
	高圧電力計	93,621 MWh	△5.9 %
	合 計	161,042 MWh	△7.2 %
車庫証明取扱件数【 3月】(諏訪地方合計)		1,475 件	△16.1 %
新設住宅着工戸数【H24.4月～25.2月】(諏訪管内)		1,031 戸	5.4 %

□本文は、当金庫の取引先約 130 社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

円安、株高が続伸し、TPP交渉参加表明や日銀人事など大きな節目があった日本経済の中で、3月の諏訪地域では、一部に明るさが見える企業があるものの、足元の厳しさを感じている企業が多い。今は、円安による輸入価格の上昇の方が気になり、景気回復はまだ地方に及んでいないとする見方が多く、期待感が先行する形となっている。有効求人倍率も全国や全県平均より下回ったまま推移し、緊急雇用対策会議が開かれるなど雇用情勢も厳しい。

●製造 「景気回復はまだ地方に及ばず、業況に濃淡」

自動車部品関連の下請企業は、受注が増加した企業もあるが、親企業の動向や加工内容によって生産の海外シフトの影響を受けたり、単価に苦慮している企業が多い。金属部品加工は、受注が大幅増加した企業がある一方で、在庫調整で減少した企業もあり格差が広がっている。工作機械などの産業設備は生産が弱含みながら、一部では見積もり依頼や引き合いが増え、持ち直しの兆しがある。電気機械関連も上向きになった企業はあるが、総体的には低調に推移している。ただ、物流面では滞っていた荷に動きがあり、国内向けは消費増税と需要増を見越した先行生産の動きもある。製造業全体では、機械設備を更新し、円安で先行きの見通しは比較的明るいとしたり、久しぶりに月次で黒字計上した企業がある反面、ここ数年ないほど売上が落ち込んだ企業があり、業況に濃淡が表れている。急激な円安による原材料高を懸念する声は多い。

●商業 「花粉や微小粒子状物質の影響でマスク類が伸び」

諏訪地方の3月の天候は、記録的な低温となった2月までと一転し、平均気温が1945年の長野地方気象台観測史上最も高い月となった。飛散量が多い花粉に加え、微小粒子状物質PM2.5の話題もあって、高機能マスク類の売れ行きが伸びた。高騰していた野菜やガソリン、灯油は落ち着きを

見せ、入学、入社シーズンで衣料品の売れ行きが伸びた。小売業は急激な円安による原材料高で、価格転嫁が課題となってきている。気温が高かったため、園芸用品の動きが早く、用土や肥料関係の売れ行きが昨年同期より伸びている。

自動車販売は、諏訪地方の3月の車庫証明件数(軽自動車除く)が1,475件と、エコカー補助金効果などがあった前年同月比で282件減少(△16.1%)した。前月比では539件増加(57.6%)している。平成24年度1年間の合計は11,888件で、前年度比576件、5.1%増加した。年齢に関係なく軽自動車を購入する傾向が強くなっている。

●観光・サービス業 「施設や取り組みによってまちまち」

上諏訪温泉の宿泊客数は前年同期比 70%台～130%台で、施設により格差が出ており、老舗高級旅館の事業譲渡が表面化した。全体的には個人客の予約に活気が出始め、地元飲食店と連携して、2食付の宿泊にこだわらない新しい宿泊形態への取り組みも始まった。蓼科・白樺湖などの宿泊施設の売上は、前年同月比で増加した施設もあるが、横ばいから減少の施設が多い。スキー大会の導入やスキー学校との連携で集客、収益向上を図るスキー場が見られた。長野、山梨県内のペットと利用できる施設や土産店などが、県境を越えて連携する動きも出ている。諏訪大社の3月の参拝者数は約39千人で、前年同月比約4千人減少(△10.1%)した。

●建設業 「公共工事契約額、新設住宅着工数とも前年上回る」

市町村の3月の発注工事は茅野市、岡谷市、下諏訪町で大型工事案件があり、建築工事13件、土木工事・下水道工事22件、その他工事3件の合計38件3,144百万円で、前年同月比で件数は4件、契約金額は637百万円の増加となった。また、県関係の3月の公共工事(地元業者受注分)は、6件、243百万円だった。平成24年4月～平成25年3月の累計契約は189件4,349百万円で、前年同期累計比で件数は15件減少したが、契約金額は351百万円(8.8%)増加した。

民間工事は、諏訪地方の2月の新設住宅着工戸数が74戸と、前年同月比で26戸の増加(54.2%)となった。平成24年4月～平成25年2月までの累計着工戸数は1,031戸で、前年同期に比べ53戸の増加(5.4%)となっている。長野県内の2月の新設住宅着工戸数は825戸で、前年同月比63.0%の増加と2ヶ月ぶりに増加した。

●雇用 「有効求人倍率5ヶ月連続で全県、全国、前年比下回る」

諏訪地域の2月の有効求人倍率は、前年同月比0.08ポイント減少、前月比0.03ポイント増加の0.76倍となった。全国は0.85倍、長野県は0.82倍だった。諏訪地域は昨年10月から、5ヶ月連続で全県や全国の水準、前年同月比を下回った。新規求人(全数)は1,362人で前年同月比37人の減少(△2.6%)、新規求職者数は1,124人で前年同月比49人減少(△4.2%)した。業種別の前年同月比の新規求人数は運輸業で84.8%、卸・小売業で24.7%増加したが、建設業で30.4%、医療・福祉業で27.9%、その他サービス業で26.2%減少した。1件10人以上の人員整理はなく、事業主都合による雇用保険資格喪失者は54人で前年同月比3人増加、前月より124人減少した。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	基板関係業界は、総体的に低調に推移している。
プリンター	親企業の在庫調整があり、受注減が続いていたが、3月に入ってやや上向きの感触を持つ企業もある。海外との競合で単価は厳しい。
コンタクター・リレー	3月は在庫調整の影響で受注減。原料価格の高騰による利益減少が懸念材料となっている。

2. 輸送用機械

自動車	受注先や加工内容などによってばらつきがあるが、全体的には増加傾向になりつつある。しかし、海外への生産拠点移転の影響を受けたり、単価面でまともらず、収益性に苦慮する企業も多い。
ピストンリング・シリンダーライナー	昨年11月以降減産が続いていたが、やや回復傾向になっている。欧州向けは依然低調。
船外機	円安で先行きの見通しは比較的明るく、増加傾向となっている。途上国向けの2サイクルエンジンも好調を維持している。欧州向けは低調。

3. 一般機械

工作機械・専用機	完成品で順調な分野もあるが、原材料価格の懸念もあって、現時点では先行きの見通しが不透明。農機・建機は比較的増加傾向が見られる。
搬送用機械	大型受注は減少しているが、医療、食品関係を中心に堅調。引き合い件数も増加し、受注確率も上がっている。
金型	増減あるものの、総体的に低調に推移している。
ダイカスト	加工分野や受注先により増減まちまち。半導体分野の一部で持ち直しの兆しもある。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルスチルカメラの2月の生産台数は433万台で前月比10.0%の減少、前年同月比では51.2%の減少となった。2月の出荷台数は国内出荷75万台、海外出荷351万台の合計426万台で、前月比9.7%減少、前年同月比は49.7%減少となっている。 一眼レフが頭打ちとなり、コンパクトカメラがスマートフォンに押される状況が続き、さらに価格競争の結果でコストダウンとなっている。業界全体の受注減で見積り金額が非常に低くなっている。
レンズ	一部に旺盛な企業もあるが、全体的には受注減が続く企業が多い。

5. 繊維

ニット

春、夏量は低調で中国などへの海外生産シフトが顕著になり、海外との競合はさらに激化。秋物サンプルは前年並み。

6. 食品

寒天

例年、1、2月は売上減少期で、3月になって問屋などへの売上は回復傾向。観光用としての道の駅などでの売上は天候の影響が大きい。

味噌

円安の影響で輸入原料や資材、燃料などが値上がりする一方で、商品価格に転嫁できず、板ばさみ状態の所が多い。

7. 製材

諏訪地方の2月の木造住宅着工戸数は68戸で、前年同月に比べ39戸の増加となり、やや動きが出ている。国産製材品価格は上昇している。

8. 建設

公共工事

3月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所4件、長野国道事務所等国関係2件の合計6件で、契約金額は243百万円となった。平成24年4月～平成25年3月の1年間の累計契約は189件4,349百万円と前年同期累計比で件数は15件減少したものの、契約金額は351百万円の増加となった。

市町村の3月の発注工事は、茅野市で宮川保育園建設と老人福祉センター建て替え、岡谷市で新美術考古館整備工事、下諏訪町で南小学校改築工事などの大型工事案件があり、建築工事13件、土木工事・下水道工事22件、その他工事3件の合計38件3,144百万円で、前年同月比で件数は4件、契約金額は637百万円の増加となった。

民間工事

諏訪地方の2月の新設住宅着工戸数は74戸で、前年同月比では26戸の増加(54.2%)となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は5戸増加の38戸、「貸家」は15戸増加の26戸、「分譲」は6戸増の10戸となった。平成24年4月～平成25年2月の累計は1,031戸で、前年同期累計に比べ53戸の増加(5.4%)となった。利用関係別では「貸家」が84戸増加(57.5%)、「持家」が17戸増加(2.3%)した。「分譲」は47戸の減少(△46.1%)となっている。

また、長野県内の2月の新設住宅着工戸数は825戸で、前年同月比63.0%の増加となっている。なお、前年同月比の利用関係別では、「持家」が442戸で22.1%増加、「貸家」は217戸で141.1%増加、「分譲」は165戸で205.6%増加となった。

9. 商業

衣料	新生活関連衣料の売れ行きが伸びた。入園、入学祝いのお返し物商品の売上も好調だった。
食料品	肉や魚類が好調で、高騰していた野菜も値下がりした。円安による原材料の値上がりは商品価格に転嫁しにくく、利益確保が厳しい所もある。
家電製品	パソコンはウインドウズXPのサポート終了で買い替え需要が出てきている。
自動車	最も需要が多い年度替りの月だが、エコカー補助金がなかった一昨年同月比でやや減少した。若者の自動車離れを懸念する声があった。
ホームセンター	高機能マスクの売上が伸びた。気温が上昇したため、園芸用の土や肥料類の動きが早く出始めた。

10. 観光

上諏訪温泉	飲食店で特典がある「すわなびカード」がスタートし、新しい宿泊形態への取り組みが始まった。全体的に個人客の予約に活気が出てきた。
蓼科・白樺湖・車山等	売上が増加した施設もあるが、前月比で横ばいか減少傾向の施設が多い。富士見パノラマリゾートスキー場の入場者数は昨年より伸びた。
下諏訪温泉	送別会、卒業、入学関連の日帰り宴会は好調だった。桜の季節の宿泊が減少傾向。宿泊施設の流れが変わり、客数、売上とも増加した施設がある。
諏訪大社	上社・下社合わせた3月の参拝者数は約39千人。春宮は最近、団体旅行のコースに入る傾向で、参拝数は一過性ではなく定着してきた。3月半ばから急増している。桜の時期からGWにかけて増加予想。

● 企業からのコメント

- ・ 受注につながらず、アベノミクスは全く感じられない。(半導体関連部品製造業)
- ・ 短納期の受注はあるが、安定受注までいかない。引き続きコストダウン要請が厳しく、利幅は減少している。(プレス業)
- ・ マインド的には明るくなってきたが、直接の受注は停滞傾向で単価が安く、円安の影響など感じられない。海外から国内へ来たり、国内にとどまる製品の話は少しではあるが出てきている。(自動車関連部品製造業)
- ・ 機械設備の更新をした。円安で先行きの見通しは比較的明るい。(輸送機械部品製造)
- ・ 3月に入って急に予定外の受注が入り、しばらく続く見通し。原材料値上げの影響が心配(精密機械製造業)
- ・ 原材料価格が上がっているが、まだ小売価格に反映させていない。価格転嫁の時期は、各企業の体力勝負になっている(小売業)
- ・ 景気回復で消費意欲向上を期待しているが、現状で実感はない。若者は低価格、高齢者は高価なものを求める傾向がある(ショッピングセンター)